

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公表番号】特表2004-506414(P2004-506414A)

【公表日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-505964(P2002-505964)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

C 1 2 N 5/10

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成15年2月28日(2003.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

単一細胞または細胞組織を、その中に含まれる天然DNAおよび/またはRNAを、0を越えない温度において長期に渡って、DNAおよび/またはRNA增幅に好適な状態に保存するための組み込み媒体であって、実質的に、ヒドロキシプロピル-メチルセルロース(HPMC)の水溶液からなり、所望により浸透圧安定化剤を含むことを特徴とする組み込み媒体。

【請求項2】

前記DNA増幅法がポリメラーゼ連鎖反応(PCR)を含むことを特徴とする請求項1の組み込み媒体。

【請求項3】

前記RNA増幅法が逆転写ポリメラーゼ連鎖反応(RT-PCR)を含むことを特徴とする請求項1の組み込み媒体。

【請求項4】

前記長期は2ヶ月以上であることを特徴とする請求項1の組み込み媒体。

【請求項5】

前記温度は-20以下であることを特徴とする請求項1の組み込み媒体。

【請求項6】

前記浸透圧安定化剤は、塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化マグネシウムの中の1個または数個であることを特徴とする請求項1の組み込み媒体。

【請求項7】

前記HPMCの濃度が0.1ないし5重量%であることを特徴とする請求項1の組み込み媒体。

【請求項8】

天然DNAおよび/または天然RNAの増幅法であって、

被験者や動物から、または、単一細胞や多数の単一細胞から、天然DNAおよび/または天然RNAを含むサンプル入手すること、

このサンプルに、実質的にヒドロキシプロピル-メチルセルロース(HPMC)の水溶液

からなり、所望により浸透圧安定化剤を含むDNA/RNA保存水溶液を供給すること、サンプルとDNA/RNA保存液の混合物を凍結すること、前記凍結混合物を0以下の温度で長期に渡って保存すること、前記凍結混合物を0を越える温度に上げること、灌水または水洗によって前記保存液の全てまたは一部を除去すること、所望により、前記サンプルから前記DNA/RNAを分離すること、そのDNAおよび/またはRNAを増幅すること、を含むことを特徴とする方法。

【請求項9】

DNAはポリメラーゼ連鎖反応(PCR)によって増幅されることを特徴とする請求項8の方法。

【請求項10】

RNAは逆転写ポリメラーゼ連鎖反応(RT-PCR)によって増幅されることを特徴とする請求項8の方法。

【請求項11】

実質的にヒドロキシプロピル-メチルセルロース(HPMC)の水溶液からなり、所望により浸透圧安定化剤を含む水溶液中に、0未満の温度で長期に渡って組み込まれた細胞および組織由来のDNAの増幅によって得られたDNA。

【請求項12】

ポリメラーゼ連鎖反応(PCR)によって増幅された、請求項11のDNA。

【請求項13】

実質的に、水溶性セルロース誘導体および、要すれば添加してもよい浸透圧安定化剤から成る水溶液中に、0未満の温度で長期に渡って組み込まれた細胞および組織由来のRNAの増幅によって得られたDNA。

【請求項14】

逆転写ポリメラーゼ連鎖反応(RT-PCR)によって増幅された、請求項13のDNA。